

武石地域自治センター

重点目標

- 1 住民との協働による地域づくり
- 2 地域コミュニティ拠点施設の検討と安全安心な地域づくり
- 3 地域資源を生かした産業施策の推進

重点目標	住民との協働による地域づくり		部局名	武石地域自治センター	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第1編 自治・協働・行政【市民が主役のまちづくり】 第1章 自治の推進による活力ある自立した地域社会の実現 第1節 参加と協働による自治の推進 第2節 地域内分権による地域の自治の推進	第6編 文化・交流・連携【文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり】 第2章 交流・連携、移住・定住による活力ある都市づくり 第1節 上田の魅力発信、選ばれる都市づくり	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	3 訪れたい・住みたいうた戦略 ③移住・二地域居住を促進する施策の推進 4 ヒト・地域の輝き戦略 ④地域主体のまちづくりを進める地域内分権推進	2014市長マニフェスト における位置付け	I-2-② II-1-③
第三次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ア 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立		(3) 市民満足度を向上させる人・組織の改革 力 地域内分権による地域の自治の推進			
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 自治会連合会と地域協議会が「武石地域住民自治組織準備会」で地域内分権についての先進地視察や地域協議会専門部会による研究を重ね、武石地域に新たな住民自治組織「住みよい武石をつくる会」が平成29年3月30日に設立されました。地域内分権の確立に向けて、共通認識や理解が広がりつつありますが、その捉え方は、団体や個人よりさまざまです。住民自治組織が市民の参加と協働によるまちづくりをさらに推進するため、意見交換や学習会の機会を多く設け、理解を広げながらその効果を共有し、地域内分権を進めていく必要があります。 平成22年度に自治連と地域協議会の協働で定めた武石地域全域公園化構想に基づき、平成23年度から樹木破砕機、平成28年度から乗用草刈機、平成29年度から畦草刈機の貸出を実施し、獣害対策、花木苗支給等を自治会を中心に事業を推進していますが、より構想を明確にするため、住民自治組織・地域協議会などによる、新たな取組を模索する必要があります。 余里花桃の里運営は、武石地域の地区における代表的な取組であり、公園化構想の推進からも運営支援を継続する必要があります。 武石地域は、上田市内でも少子高齢化が顕著な地域となっており、人口の減少、空家の増加が進んでいます。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 自治基本条例の基本理念を踏まえ、地域住民自らが参加・参画し、地域内の課題を解決できる新たな住民自治組織「住みよい武石をつくる会」を支援し、地域住民と行政の協働による地域自治を推進し、地域が健康で元なまを創り上げることにより「健(康)幸(福)都市」の実現を目指します。 公園化構想は、自治会等の活動やその成果の「見える化」を図ることにより、より積極的に地域住民が参加できる活動とするとともに、自らの地域を自らの手で美しくする活動を通して、地域への誇りや地域コミュニティの活性化を図ります。 余里花桃の里運営は、引き続き運営支援することにより、公園化構想の推進が図られます。 移住・定住を進める仕組みづくりを行うことにより、本庁と連携したスムーズな施策を進めることができます。 					
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)		
① 〇住みよい武石をつくる会の運営基盤づくりの支援 (1) まちづくり計画の策定支援 (2) 専門部会の運営支援 (3) 先進地事例の情報提供	(1)～(3) 年度内	(1) 計画策定支援 (2) 運営体制の支援 (3) 先進地事例研究、情報提供	(1) 4月～9月 6専門部会への担当職員出席及び計画の策定支援(6部会 延べ42回開催) (2) 各専門部会へ地域政策担当職員が毎回出席し、助言 (3) 7月20・21日 先進地視察(自治会長9名参加) 随時 各専門部会への先進地情報を提供(延べ12回)	(1) 10月～3月 6専門部会への担当職員出席及び計画の策定支援(6部会 延べ38回開催) (2) 各専門部会へ地域政策担当職員が毎回出席し、助言 (3) 随時 各専門部会への先進地情報を提供(延べ6回)		
② 〇武石地域全域公園化構想関連事業の推進 (1) 「わがまち魅力アップ応援事業」の支援 (2) 自治会への花木苗等支給事業 (3) 荒廃農地の解消、里山整備の支援 ア 樹木破砕機貸出事業 イ 乗用草刈機貸出事業 ウ 畦草刈機貸出事業 (4) 公園化構想見える化の推進(マップ作り)	(1) 年度内 (2) 6月 (3) ア 年度内 イ 年度内 ウ 年度内 (4) 年内	(1) 申請自治会等を支援 (2) 3自治会へ花木苗等1,000本配布 (3) ア 自治会等へ延べ8回 イ 自治会等へ延べ10回 ウ 自治会等へ延べ10回 (4) マップ活用による情報発信 新たな事業の検討	(1) 随時 申請3団体の活動支援 (2) 3自治会(沖・七ヶ・築地原)延べ830本配布 (3) ア 4月～9月 自治会等へ延べ6回貸出 イ 4月～9月 自治会等へ延べ3回貸出 ウ 4月～9月 自治会等へ延べ2回貸出 (4) GoogleMapに地域情報の登録完了	(1) 随時 申請3団体の活動支援(事業補助金:1,204千円) (2) 3自治会(沖・七ヶ・築地原)延べ830本配布 完了 (3) ア 4月～3月 自治会等へ延べ7回貸出 イ 4月～3月 自治会等へ延べ4回貸出 ウ 4月～3月 自治会等へ延べ2回貸出 (4) GoogleMapに地域情報の登録完了		
③ 〇余里花桃の里運営支援 (1) 仮設トイレ設置 (2) シャトルバス運行支援 (3) オープンガーデン取組支援	(1) 4月22日～5月7日 (2) 4月中旬～5月上旬 (運行期間は、開花状況により変更) (3) 4月22日～5月7日	(1) 一万歩駐車場・上余里 (2) 9時～15時(職員添乗) 一万歩駐車場 ⇄ 上余里 (3) チラシ、案内板作成	(1) 4月19日～5月8日 一般用4台、身障用1台設置 (2) 4月29日～4月30日 5月3日～5月7日 7日間、延べ乗車人数1,929名 (3) 4月22日～5月7日 案内板作成、チラシ2,000枚配布	(1) 4月19日～5月8日 一般用4台、身障用1台設置 完了 (2) 4月29日～4月30日 5月3日～5月7日 7日間、延べ乗車人数1,929名 完了 (3) 4月22日～5月7日 案内板作成、チラシ2,000枚配布 完了		
④ 〇移住定住の推進 (1) 自治会・住民自治組織との連携	(1) 年度内	(1) 空き家情報提供の仕組み構築	(1) 9月14日 自治会長会 空き家バンク制度の説明と協力依頼 住みよい武石をつくる会の2つの専門部会での検討 移住定住推進課の出前講座を計画	(1) 住みよい武石をつくる会の2つの専門部会での検討 次年度も引き続き検討をしていく。		
特記事項	〇市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		<ul style="list-style-type: none"> 武石地域の新たな住民自治組織「住みよい武石をつくる会」が設立され、地域内分権の確立に向け、住民自治組織が主体的に取り組む活動を支援していきます。 武石地域全域公園化構想に基づき、各自治会や地区ごとに取り組む事業について重点的に推進します。また、地域一体となる活動に繋がるようマップの活用を図ります。 余里花桃の里運営支援は、地元運営団体と連携し、花桃の開花時期に合わせ実施するとともに、武石観光協会主催のノルデックウォーキング参加を広く市民等へ呼びかけます。 移住・定住推進のため、空き家提供となる地域住民の協力が得られやすい体制とするため、空き家情報を提供できる仕組みを自治会・住民自治組織と連携し構築します。 			
			<ul style="list-style-type: none"> 住民自治組織「住みよい武石をつくる会」の専門部会へは、毎回担当職員がオブザーバーとして活動の支援をしました。また、専門部会も武石エリアトークの管理運営、道路環境整備、健康ウォーキング、武石共育フォーラムなど部会ごとのテーマに沿った活動を積極的に行いました。 公園化構想関連事業は、わがまち魅力アップ応援事業の新規団体の募集と継続事業を実施していきます。 余里花桃の里運営支援は、引き続き地元推進団体との密な連携を図り推進していきます。 移住・定住の推進のため、空き家情報の提供ができる仕組みについてさらに検討してまいります。 			

重点目標	地域コミュニティ拠点施設の検討と安全安心な地域づくり		部局名	武石地域自治センター	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第3節 安全安心に暮らせる環境の整備	まち・ひと・しごと創生 総合戦略における位置付け	4 ひと・地域の輝き ④ 地域主体のまちづくりを進める地域内分権推進	2014市長マニフェスト における位置付け	I-2-② I-2-④ II-1-③	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 支える財政基盤の改革 ウ 市有財産の適正な管理と利活用				
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 武石地域自治センター周辺に位置する、武石公民館（ホールを除く）・老人福祉センター・健康センターは、自治センターも含め耐震基準を満たしておらず老朽化が進み耐震化・大規模改修が必要な状況となっています。 今後これらの公共施設整備を進めるうえには、上田市公共施設マネジメント基本方針に沿った整備計画と共に、住民自治の推進やコミュニティ活動の拠り所、防災拠点を兼ね備えた施設となるよう計画を進める必要があります。 近年全国的に自然災害が頻発する中、尊い生命を守るため各種警戒発令時及び災害時の避難方法、防災の備え等について、住民への周知、啓発を行うことと、拠点となる施設整備が必要とされています。 人口減少と少子高齢化が進み、地域のコミュニティ維持が困難になる可能性があります。また、人家が離れた中山間地域に適した情報伝達体制を構築する必要があります。このため廃止されたオフトーク通信の代替えによる地域内の情報伝達システムが必要とされています。 武石地域は、特に高齢化が進行していることから、災害時等の「自助・共助」について積極的な自主防災組織の育成が必要です。予てから災害時要援護者登録制度による住民支えあいマップが全自治会で完成し、自治会ごとの防災、避難体制の整備を進めてきました。 武石診療所の患者数は減少傾向にあり、経営的にも厳しい状況となっています。こうした状況の中、診療体制や適正な人員配置等の見直しや今後のあり方について、検討が必要となっています。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 機能的で利便性の高い市民団体の活動拠点及び防災拠点となる「小さな拠点」の核となる総合センター整備により、多くの市民の社会参加・健康づくり・生きがい対策まで含めた市民協働による開かれた地域づくりが推進できます。 施設の一元化と規模の適正化により、利便性の向上と維持管理経費の縮減、行政効率の向上が期待できます。 人口減少と少子高齢化の中、地域内での情報伝達システムを構築することは、地域コミュニティの維持、発展、安全安心な住みよい武石づくりに寄与するものとして期待されます。 自主防災組織リーダー研修・各自治会での防災訓練等を通して地域住民が防災についての認識を深め、その能力を高めることで、万が一の災害時にも被害を最小限に留めるとともに、互いに支え合う地域づくりを推進し、暮らしの安心につなげます。 武石診療所は地域内唯一の医療機関であり、診療所にしか来ることができない高齢者等も多く、第一次医療機関としてのあり方を検討し、体制等見直しを行うことにより、経営の効率化と在宅で安心して医療が受けられる体制の充実が図られます。 					
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① ○総合センター建設基本構想・基本計画の策定 (1) 検討委員会の設置 (2) 基本構想の決定 (3) 基本計画の決定	(1) 6月 (2) 8月 (3) 2月	(1) 地域協議会へ委員委嘱の報告 (2) 地域協議会への報告方針決定 (3) 地域協議会への諮問・答申方針決定	(1) 6月 武石総合センター整備検討委員会設置、地域協議会へ報告 (2) 庁内検討会（6回） 検討委員会（3回）基本構想（素案）作成 8月 地域協議会・市政経営会議・部長会議 基本構想決定 (3) 9月～ 庁内検討会及び検討委員会で検討中	(1) 6月 武石総合センター整備検討委員会設置、地域協議会へ報告 (2) 庁内検討会（6回） 検討委員会（3回）基本構想（素案）作成 8月 地域協議会・市政経営会議・部長会議 基本構想決定 (3) 9月～ 庁内検討会及び検討委員会で検討中	(1) 6月 武石総合センター整備検討委員会設置、地域協議会へ報告 (2) 庁内検討会（6回） 検討委員会（3回）基本構想（素案）作成 8月 地域協議会・市政経営会議・部長会議 基本構想決定 (3) 9月～ 庁内検討会及び検討委員会で検討中	
② ○総合センター建設準備 (1) 住民説明会の開催 パブリックコメントの実施 (2) 土地測量業務	(1) 7月～8月 (2) 12月	(1) 武石住民対象、4回程度開催 市内全域を対象 (2) 地域自治センター・公民館・老人福祉センター 各敷地	(1) 8月4日～19日 7回実施（延べ99名出席） (2) 7月 地域自治センター周辺の地形図編纂事業終了 8月 公民館敷地の用地測量業務契約済 地域自治センター・老人福祉センター敷地については、下半期に実施予定	(1) 8月4日～19日 7回実施（延べ99名出席）完了 (2) 7月 地域自治センター周辺の地形図編纂事業 完了 8月 公民館敷地の用地測量業務契約 完了 3月 地域自治センター・老人福祉センター敷地について測量完了		
③ ○情報伝達システムの整備 (1) システム運営主体の支援 (2) 住民説明会の開催	(1) 年度内 (2) 5月	(1) 運営主体の決定、運営支援 (2) 全自治会対象	(1) 6月 住みよい武石をつくる会が運営主体となることが決定 7月 事業化決定（システム加入希望世帯73%） 9月 請負業者決定（指名競争入札） (2) 5月 全18自治会対象（延16回、315名出席） 7月 加入意向調査実施（全世帯、事業所）	(1) 10月～12月 アナウンサーの決定と放送内容の検討 1月1日から開局し、毎日2回の定時放送を開始 (2) 5月 全18自治会対象（延16回、315名出席） 7月 加入意向調査実施（全世帯、事業所） 完了		
④ ○自主防災組織の育成と防災訓練の実施 (1) 自主防災組織リーダー研修会の実施 (2) 防災訓練の実施	(1) 6月 (2) 9月	(1) 全自治会対象 (2) 全自治会対象	(1) 6月21日 自主防災組織リーダー研修会開催（76名参加） (2) 9月2日 全18自治会参加 ・1次避難場所への参加者 581名 ・情報伝達訓練 1,198世帯参加（参加率99.6%）	(1) 6月21日 自主防災組織リーダー研修会（76名参加）完了 (2) 9月2日 全18自治会参加 ・1次避難場所への参加者 581名 ・情報伝達訓練 1,198世帯参加（参加率99.6%）完了		
⑤ ○武石診療所の体制等の見直し、あり方、考え方の明確化 (1) 職員による内部検討の実施 (2) 診療所の情報発信 (3) 地域住民と意見交換会の実施 (4) 診療所事業の充実の検討	(1)～(4) 年度内	(1) 年4回 (2) 地域自治センターだよりへの掲載 (3) 年1回 (4) 関係課と連携の上実施	(1) 5月19日、9月8日 診療所職員による内部会議開催（2回） (2) 地域自治センターだより（3回）依田窪病院だより（1回）への掲載 (3) あり方検討会を2月開催に向け準備中 (4) 9月16日 わくわくウォーキング（41名参加） 健康推進課、武石公民館と共催（血糖値検査・血圧測定） 9月26日～29日 通学合宿実行委員会へ参画	(1) 診療所職員による内部会議開催（延べ4回開催） (2) 地域自治センターだより（6回）依田窪病院だより（1回）掲載 (3) 2月14日 あり方検討会を開催（10団体の代表者が参加） (4) 9月16日 わくわくウォーキング（41名参加） 完了 健康推進課、武石公民館と共催（血糖値検査・血圧測定） 9月26日～29日 通学合宿実行委員会へ参画 完了 11月12日 「晩秋の武石スポーツ祭」へ参画 完了		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			
	<ul style="list-style-type: none"> 総合センター整備では、地域住民へ情報を公開し地域住民の満足度の高いセンターとなるよう計画していきます。 住民の導入要望の高い情報伝達システム整備を、住民自治組織・自治会の協力を得ながら早急に整備を進めます。 武石診療所の現状と保健・介護事業等との連携を住民に広報し、事業の充実を図っていきます。 		<ul style="list-style-type: none"> 総合センター整備では、内部、外部それぞれの検討委員会では積極的な意見交換ができ、基本構想及び基本計画が決定しました。 新しい情報伝達システムの導入については、計画どおりに整備され、運営主体となる住みよい武石をつくる会との連携を図り、無事開局し、住民の要望に応えることができました。 診療所の現状を地域自治センターだよりで広報するとともに他課との共催により充実した事業を展開しました。 			

重点目標	地域資源を生かした産業施策の推進		部局名	武石地域自治センター	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働きたい産業が育つまちづくり 第1章 次代へつなぐ農林水産業の振興 第2節 農林業の安定的な生産体制の整備と産地化の推進 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	1 上田で働きたい戦略 ④農林業の稼ぐ力の創出 3 訪れたい・住みたいうた戦略 ①地域資源を生かした知名度アップと交流促進	2014市長マニフェスト における位置付け	I-1-① II-1-③	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ウ 広域連携の推進		(2) 支える財政基盤の改革 ウ 市有財産の適切な管理と利活用			
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 農業基盤施設の老朽化により、計画的な維持補修が必要です。 平成28年度新規採択となった、県営中山間総合整備事業（美の郷地区）の事業が開始されますことから、事業実施期間（H29～H34）に、採択要件である多面的機能支払交付金事業を期間中に実施する必要があります。 農地の維持、資源向上のため、多面的機能支払交付金事業を推進する必要があります。 練馬区との友好提携により共に育んできた文化、教育、産業等の交流をさらに深めるため、交流イベントに参加することが重要です。 観光客誘致に向け魅力ある観光地を集結し、広域的に関係自治体が連携することで、それぞれの観光資源を点ではなく面でアピールすることが必要です。 自然環境や温泉施設、歴史的建造物など、武石地域特有の地域資源を活用することによって、武石地域におけるファンを増やし、観光客等の利用者増を図ることが必要ですが、観光施設等については、一般的に老朽化が進んでいることから、魅力ある観光資源として発信していくために、安全対策及び景観上、計画的な整備が必要であり、観光施設等のあり方について検討する必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 県営中山間総合整備事業（美の郷地区）の事業実施を推進するため、実施測量等を行い、多面的機能支払交付金事業についても、期間中に実施できるよう推進します。 農地の維持、資源向上のため、多面的機能支払交付金事業を推進します。 練馬区との友好提携により共に育んできた文化、教育、産業等の交流をさらに深めるため、練馬区との交流イベントを積極的に行い、上田市のPR及び地元農産物のPRと販路拡大を図ります。 美ヶ原高原及びビーナスラインの自然をテーマとし広域的に関係自治体が連携し、それぞれの観光資源を点ではなく面でアピールし効果的に観光客誘致を図ります。 魅力ある観光資源として発信していくため、観光施設についての整備を計画的に実施し、誘客を図るとともに、観光施設等のあり方について検討します。 					
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① 〇中山間総合整備事業（美の郷地区）の事業実施に向けた推進（H29～H34）（2地区） (1) 実施測量等の実施 (2) 地元説明会の実施 (3) 関連事業の地元説明会の実施	(1) 年度内 (2) 年度内 (3) 6月	(1) 実施測量等 (2) 工事概要等説明 (3) 多面的機能支払交付金事業説明	(1) 推進中 (2) 8月27日、9月28日に開催 (3) 8月27日、9月28日に開催	(1) 推進中 (2) 8月27日、9月28日に開催 完了 (3) 8月27日、9月28日に開催 完了		
② 〇多面的機能支払交付金事業の推進 (1) 推進のための説明会の開催・組織の立ち上げ支援 ア 自治会長会 イ 地元 (2) 活動組織への指導・助言	(1) ア 11月、1月 イ 年度内 (2) 年度内	(1) ア 2回 イ 2回 (2) 指導助言	(1) ア 11月10日及び1月の自治会長会において説明予定 イ 6月22日、8月18日、9月22日 余里自治会内組織 (2) 随時 下小寺尾水土里会	(1) ア 11月10日及び1月12日の自治会長会において説明 イ 6月22日、8月18日、9月22日 余里自治会内組織 完了 8月7日 下本入自治会 完了 (2) 随時 下小寺尾水土里会		
③ 〇友好提携都市との交流と広域市町村との連携 (1) 練馬区との交流 ア 照姫まつりの参加 イ 練馬まつりの参加 (2) 美ヶ原高原広域連携 美ヶ原高原関係自治体及び関係団体との連携 ア 美ヶ原自然再生事業（ササ刈り）の開催 イ 美ヶ原高原ノルディックウォーキングの開催 (3) ビーナスライン沿線広域連携 ビーナスライン沿線広域連携協議会への参画	(1) ア 4月23日 イ 10月 (2) ア 5月21日予定 9月30日予定 イ 9月2日予定 (3) 年度内	(1) ア 上田市PR活動、物産店出店 イ 上田市PR活動、物産店出店 (2) ア 参加者 150名以上 イ 参加者 50名以上 (3) 運営参加	(1) ア 4月23日参加 上田市・ベルデ武石のPR、物産展出展 その他 8月1日 練馬区独立70周年記念式典 イ 10月15日参加予定 (2) ア 5月21日開催 参加者 97名（上田市分のみ） 9月30日開催 参加者 179名（うち上田市分83名） イ 9月2日開催 参加者 54名（うち上田市分38名） (3) 4月27日総会出席 実施事業：エコレンタカーでめぐろう！など	(1) ア 4月23日参加 上田市・ベルデ武石のPR、物産展出展 その他 8月1日 練馬区独立70周年記念式典 イ 10月15日参加 上田市・ベルデ武石のPR、物産展出展 (2) ア 5月21日開催 参加者 97名（上田市分のみ）完了 9月30日開催 参加者 179名（うち上田市分83名）完了 イ 9月2日開催 参加者 54名（うち上田市分38名）完了 (3) 4月27日総会出席 実施事業：エコレンタカーでめぐろう！など 完了		
④ 〇観光施設等あり方の検討 (1) 岳の湯温泉雲溪荘の廃止又は民間等への譲渡を含めた検討 (2) 菓栗溪谷緑の広場、武石番所ヶ原スキー場、武石温泉うつくしの湯のあり方の検討	(1)(2) 年度内	(1)(2) 関係者との意見交換等の推進	(1)(2) 5月24日 第1回庁内検討会 7月19日 第2回庁内検討会（岳の湯温泉雲溪荘視察）	(1)(2) 5月24日 第1回庁内検討会 7月19日 第2回庁内検討会（岳の湯温泉雲溪荘視察） 10月12日 第3回庁内検討会 12月20日 第4回庁内検討会 1月26日 第5回庁内検討会		
特記事項	〇市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・多面的機能支払交付金事業については、地域団体等と協働で農地の維持、資源向上に努めます。 ・美ヶ原高原自然再生事業（ササ刈り）及び美ヶ原高原ノルディックウォーキングの参加について、広く市民等に呼びかけます。 ・観光施設のあり方の検討においては、各施設の厳しい状況等を広く住民に広報していきます。		〇取組による効果・残された課題 ・多面的機能支払交付金の活用について、今後も積極的に自治会等への説明会を行い、具体的なエリア選定や事業項目を示していきます。 ・引き続き美ヶ原高原自然再生事業（ササ刈り）や美ヶ原高原ノルディックウォーキングなど観光資源である美ヶ原高原の活用した事業について関係機関と連携をさらに深めていきます。			